

町民の目線に立った 働く役場づくりを

地域に入り多くの人と 話しあって進めるまちづくり

瀧町長は初登庁後、職員を前に今後の方針や町民の皆さんに対する対応などについて、次のとおりあいさつを行いました。

私は、このことを職員の皆さんにも認識していただき、今後、総合計画や財政計画、新年度予算の作成にあたり、頭を切り替えて取り組んでほしい。

3月27日に安平町がスタートしました。これまで合併に向けて大変ご苦労をかけたが、職員の皆さんの努力のたまものと思い感謝申し上げます。

この3週間の間に、私は、多くの方の意見や町民の声を聞いてきました。

まず町民の皆さんに私が訴えてきたことを述べます。

職員は、庁舎内にとどまらず、公務や公務外でも町に出で多くの町民と話をし、まちづくりや町民の生活などについて地域にとけ込んでいたきたい。

安平町という町ができ、両地域が歩んできた歴史を職員がきちんと踏まえ、地域の住民と手を取り合つて良い町を創つていきたい。

私も一日も早く職員皆さんの顔と名前を覚えるよう努めていきますので、新しい安平町に向けての私の公約実現について、機会あるごとに職員一人ひとりの声を聞かせていただきたい。

そのために私たちが存在し、その機関として役場がある。そういう認識を持って、町民の目線に立った、町民のための機関である意識を常に持ち安平町民のために働く役場づくりを職員と共に築いていきたい。

以上、安平町長としての最初のあいさつといたします。



お互いの町の良いところを伸ばし発展してほしい。

町の課題や問題点がありますが、住民が生活しやすく明るい町にしたいと思います。

早来中学校生徒会長

大原れいさん



夢をかなえるお手伝いをしますよ。

酒が飲みたくなったら、いつでも声をかけてください。

早来雪だるま郵便局長

真保 生紀さん

(追分小学校の同期生)



新町長にメッセージ

町長、当選おめでとうございます。一日も早く追分、早来の地域が一体感の持てる町になることを願っています。頑張ってください。(追分地区で農業を営む上岡久之さん)